

410回 命学セミナー

(5回「-システムプロジェクト」共催)

下のり合同セミナーが催されますので、**員・学**を問わず、多くご参加ください。

2020年3月21日 20時15分

場所 広島大学 合学205室

天の付害化合物の合成および
価値

大(北大)地境学

Taiki Umezawa, PhD (Faculty of Environmental Earth Science, Hokkaido University)

< > をしているときや、小さいにへったとき、打ちで付しているフジツボをかけたことがあると思います。彼らは人のいるところでもをつないでいくために一懸命にきているだけですが、その動が人の動に大きな影を及ぼしています。例えば、底に付するとが大きく悪化したり、所の取に付することでまらせたり、のへの付がしているのを引きこしたり。このような影により、だけで年1000億円の害がされています。これまで、な傷型の付害が主に使われてきましたが、持可な利に向けて境にやさしい付害化合物のが在められています。

付害化合物として、たちは動などのから得られた化合物天にしています。天の徴として、強い付害性と各に対する低性を併せ持ります。すなわち、天はフジツボをすことなく、フジツボを忌させています。たちはこれら天の合成をして、たな導体の創出や付害メカニズムを指してをめています。今回のセミナーでは、たちのこれまでの成について介します。

<参考> *Chem. Biodivers.* 16, 1 00451 (201). *Org. Biomol. Chem.* 15, 1140-1150 (201). *Mar. Drugs* 15, 203 (201). *Tetrahedron Lett.* 56, 1 -11 (2015). *Angew. Chem. Int. Ed.* 53, 30-312 (2014). *J. Org. Chem.* 76, 55-53 (2011). *Org. Lett.* 12, 04-0 (2010).

問合先 合命学・平夫 53 主催 合命学・典 52

()命学共同セミナーを受する圏学のもに参加してください。

()このセミナーは共同セミナーの一として催されます。

()このセミナーは合学またはの一としてめられています。